

序章

- ・ 昨年の夏 東北の山を回り「東北山紀行」を行った。
愛車RAV4に寝床と居住区間を作り生活用品と食材を積み込んでの気ままな一人旅。
天気も良く花も豊富な東北の山々、人が少ない静かなすばらしい山旅だった。
- ・ そんな記憶がよみがえり今年には北海道の山を回ってみようと考えた。
るるぶの「花の百名山・山あるきガイド(上)」を参考に5月ごろより計画をたて始めた。
- ・ 北海道へ行くなら、かねてから一度は行ってみたいと思っていた利尻山と礼文島は外せない。
今まで観光で北海道は何回も回っているが、宗谷岬や根室、厚岸方面はまだ行っていない。
釧路湿原も行っていないし、昔同じ職場にいて鶴居に嫁いだ娘にも会いに行きたい。
北海道の山に登るのは初めてだ。ひくまのいる山は怖い。
行ってみたいところ、やってみたいこと、心配することなどいろいろある。
- ・ 計画は着々と進み、花の時期、梅雨の時期、全てが高い金を取るトップシーズンを外してなどいろいろ考慮し6月の中旬から7月中旬にかけて出かけることに決めた。
- ・ 車は昨年のRAV4に細工した東北仕様をベースに若干改良し長期間暮らせる仕様に。
- ・ 行きは割引の多い新日本海フェリーで新潟港から苫小牧港へ行くことに。そこから時計回りで樽前山、恵庭岳、ニセコの目国内岳、北上して稚内から利尻山、礼文島、南下して中央部の大雪山系の旭岳、富良野岳、大雪山白雲岳、雌阿寒岳、北へ回って斜里岳、羅臼岳と登り南下して根室、厚岸、釧路湿原、鶴居から襟裳岬を回ってアボイ岳を登り苫小牧から帰る、という北海道一周のコースを計画した。登る山は11山、期間はおよそ一ヶ月間となった。
- ・ 夜は道の駅に止めた車の中での寝泊りが基本。たまには畳の上でゆっくり寝たいということで車で行かない利尻、礼文、道の駅が無く駐車場の様子がよくわからない登山基地の旭岳、富良野岳、斜里岳は安い民宿や山小屋を確保した。大雪山の層雲峡はゆっくりしたいのでユースホステルを2泊予約した。このようにところどころに宿の予約を入れたので行動の日程に制約ができてしまい行動の自由が少なくなった。行動は日程に縛られたくない。
今後の計画ではなるべく避けたいと考える。
- ・ このようにして6月18日夜、新潟港からフェリーに乗り今年の夏の「北海道山紀行」が始まった。帰りは約一月後の7月中旬の予定である。

下に今回の紀行ルートを表示する。

